

のぎわっ子

平成29年度
学校だより
磐田市立東部小学校
平成29年5月24日

5月の会礼「音読のすすめ」

4月6日の始業式から、1か月が過ぎました。始業式では、「なりたい自分」のお話をしました。各教室をまわると、

「きれいなクラスにするためにゴミをひろう」

「発表をたくさんできるようになりたい」

「体力をつけるためにサーキットをしっかりやる」

など、「なりたい自分」に向かって、みなさん一人一人の目標や学級目標が、教室に掲示されています。「なりたい、なりたい」と思っているだけでは、なれません。「なりたい自分」に近づくために行動にうつすことが大切です。

さて、今日は、2人の友達に国語の本読みをしてもらいます。3年生Aさんと6年生Bさんです。前に出てきてください。

では、「Aさん、お願いします。」・・・「きつつきの商売」の音読・・・
次に、「Bさん、お願いします。」・・・「カレーライス」の音読・・・

みなさん、2人の音読は、どうでしたか。「感想を言ってくれる人いませんか。」
校長先生も、「はっきりした声で、すらすらと、そして、気持ちをこめて読むことができていた」と思います。

みなさんは、毎日、宿題で国語の本読みをしていますね。

実は、声を出して読む音読は、みなさんのために良いことがいっぱいあります。

良いことを紹介します。

一つ目、「日本語の心地良いリズムを感じることができます。」

二つ目、「言葉の楽しさやおもしろさを感じることができます。」

三つ目、「友達と一緒に声を合わせて読むと、声を響かせることの
素晴らしさを感じることができます」

四つ目、「はっきりした声を出すことができるようになります。」

そして、何よりも、繰り返し練習することで、しだいに滑らかに声が出せるようになり、練習した手応えを感じることができます。また、「脳がよく働くようになる」と言っている大学の先生もいます。

みなさんのためになる国語の本読みです。今日から、家ではっきりした声を出して、国語の本読みを一生懸命練習しましょう。

今日は、「国語の本読み」について、お話をしました。

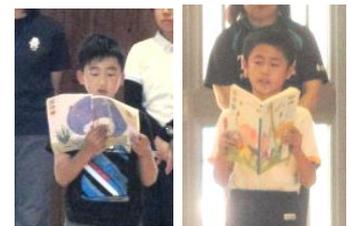
東部小のもくひょう

「夢をもち
みんなと学ぶ子」

声を出してよむ



よさがいっぱい



はっきりした声で



本よみをしよう

